



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東  
コード番号 3173 URL <https://www.cominix.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)柳川 修一  
(役職名)取締役常務執行役員  
問合せ先責任者 (役職名)林 祐介 (TEL)06(7663)8208  
管理本部長兼経営企画室長  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,943	△1.6	249	△42.9	329	△44.2	183	△56.5
2023年3月期第2四半期	14,173	7.3	436	29.5	590	44.8	423	34.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 313百万円(△47.9%) 2023年3月期第2四半期 601百万円(26.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	26.77	—
2023年3月期第2四半期	61.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,928	7,469	39.3
2023年3月期	18,553	7,295	39.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,446百万円 2023年3月期 7,274百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	20.00	33.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	9.2	1,150	21.3	1,110	5.2	762	2.6	110.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	6,868,840株	2023年3月期	6,868,840株
2024年3月期2Q	335株	2023年3月期	335株
2024年3月期2Q	6,868,505株	2023年3月期2Q	6,868,505株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、個人消費の増加やインバウンドの拡大による経済活動が再開し、社会経済活動の正常化に向けた動きが進むと思われた中、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、為替相場の円安進行の長期化などにより、持ち直しの動きに鈍化が見られました。世界経済は、地政学リスクの長期化により不安定な国際情勢が継続しており、日本経済同様に原材料価格やエネルギーコストの高騰に加え、各国の金融引締め政策により、不透明な事業環境は長期化していくことが予想されております。

当社はこのような不透明な環境の中で、「真の生産性向上に貢献する高度専門商社への変革」を中長期基本方針に掲げ、新中長期計画の2年目として、引き続き「持続的な成長」と「改革」を実現するための戦略を進めてまいりましたが、主要進出国である中国における急速な経済の失速を背景として海外事業だけでなく、切削工具事業、光製品事業においても売上高、及び利益が伸び悩みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,943百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益は249百万円（前年同四半期比42.9%減）、経常利益は329百万円（前年同四半期比44.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は183百万円（前年同四半期比56.5%減）となりました。

なお、当社は2023年9月15日付けで開示しました「（プライム市場の）上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況（変更）及びスタンダード市場への選択申請及び適合状況について」に記載のとおり、プライム市場の上場維持基準を満たしていないままプライム市場への上場を維持した場合に起こりうる経過措置終了後の上場廃止リスクの回避、株主利益等を総合的に判断した結果、スタンダード市場への選択申請を2023年9月15日付けで東証へ提出しており、2023年10月20日にスタンダード市場に市場区分が変更されております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ■ 切削工具事業

売上高は8,148百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益は59百万円（前年同四半期比51.9%減）と減収減益となりました。

主な要因は、当連結会計年度より設立された機械販売部の積極的な活動により、工作機械等の設備関連の受注を獲得するなど、当社グループの事業領域拡大に向けた取組みを積極的に推進いたしました。しかし、主要販売先である自動車業界において、車載半導体不足の緩和で生産の回復が見られたものの、中国向け輸出を主体とする顧客への販売が低迷したことにより、業績が低迷いたしました。

#### ■ 耐摩工具事業

売上高は1,350百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は104百万円（前年同四半期比84.7%増）と増収増益となりました。

主な要因は、アルミ缶等の生産需要が堅調に推移する中、主要販売先である製缶業界への取組みをはじめとして、EV関連の受注獲得や新規の外注加工先との取組みを積極的に展開し、主要製缶メーカーの販売が好調に推移したことにより、業績が向上いたしました。

■ 海外事業

売上高は3,318百万円（前年同四半期比3.3%減）、セグメント利益は61百万円（前年同四半期比70.3%減）と減収減益となりました。

主な要因は、国際情勢の不安等を起因として世界的に景気減速の状況下において、成長拡大が期待できるインドなど一部の進出国で受注が好調に推移したものの、当社の主要進出国である中国の経済下振れの影響を吸収するには至らなかったことによります。

■ 光製品事業

売上高は733百万円（前年同四半期比15.6%減）、セグメント利益は33百万円（前年同四半期比60.0%減）と減収減益となりました。

主な要因は、展示会の出展など営業活動を推進しましたが、電機・半導体業界の低迷や主要顧客の中国向け需要減の影響を受け、売上が低迷したことによります。

■ eコマース事業

売上高は20百万円（前年同四半期比187.9%増）、セグメント損失は35百万円（前年同四半期は46百万円のセグメント損失）となりました。

主な要因は、取り扱い商品の充実、SNS等を利用した各種プロモーション、顧客ニーズに合わせたサイト改修、販売店と連携した拡販施策等、業績拡大に向けての基盤づくりを積極的に展開しましたが、現時点では基盤づくりのための投資フェーズでもあることから、低調に推移したことによります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて102百万円増加し、15,283百万円となりました。これは主に、現金及び預金が110百万円、前渡金が179百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が275百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて271百万円増加し、3,645百万円となりました。これは主に、機械装置が59百万円、投資有価証券が165百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて374百万円増加し、18,928百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて222百万円増加し、8,735百万円となりました。これは主に、短期借入金が362百万円、電子記録債務が159百万円、未払法人税等が136百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が241百万円、1年内返済予定の長期借入金が111百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて21百万円減少し、2,723百万円となりました。これは主に、長期借入金が121百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて200百万円増加し、11,459百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて174百万円増加し、7,469百万円となりました。これは、利益剰余金が46百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益による増加183百万円、剰余金の配当による減少137百万円）、その他有価証券評価差額金が143百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,657百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、422百万円(前年同期は84百万円の使用)となりました。

資金の増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益324百万円、売上債権の減少額330百万円、棚卸資産の減少額109百万円、減価償却費96百万円などであり、資金の減少の主な内訳は、その他流動資産の増加額224百万円、仕入債務の減少額176百万円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、85百万円(前年同期は37百万円の獲得)となりました。

資金の減少の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出142百万円、保証金の差入れによる支出60百万円、無形固定資産の取得による支出43百万円などであり、資金の増加の主な内訳は、投資有価証券売却による収入70百万円、定期預金の払戻しによる収入62百万円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、147百万円(前年同期は78百万円の獲得)となりました。

資金の減少の主な内訳は、長期借入金の返済による支出573百万円、配当金の支払額137百万円などであり、資金の増加の主な内訳は、長期借入金による収入340百万円、短期借入金の増加額284百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2023年5月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,717	2,828
受取手形及び売掛金	5,217	4,941
電子記録債権	728	775
棚卸資産	6,073	6,044
その他	492	742
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	15,180	15,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	277	271
土地	360	361
その他（純額）	315	379
有形固定資産合計	952	1,012
無形固定資産		
のれん	316	279
その他	138	155
無形固定資産合計	454	435
投資その他の資産		
その他	2,002	2,235
貸倒引当金	△36	△38
投資その他の資産合計	1,965	2,197
固定資産合計	3,373	3,645
資産合計	18,553	18,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,629	2,387
電子記録債務	1,733	1,892
短期借入金	2,326	2,689
1年内返済予定の長期借入金	1,004	892
1年内償還予定の社債	50	—
未払法人税等	59	195
賞与引当金	183	194
役員賞与引当金	35	17
その他	490	465
流動負債合計	8,512	8,735
固定負債		
長期借入金	1,833	1,712
役員退職慰労引当金	307	317
退職給付に係る負債	417	448
その他	186	245
固定負債合計	2,745	2,723
負債合計	11,258	11,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	350	350
資本剰余金	330	330
利益剰余金	6,319	6,365
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,999	7,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	218
為替換算調整勘定	199	181
その他の包括利益累計額合計	274	400
非支配株主持分	20	22
純資産合計	7,295	7,469
負債純資産合計	18,553	18,928



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	14,173	13,943
売上原価	11,140	10,926
売上総利益	3,033	3,017
販売費及び一般管理費	2,596	2,768
営業利益	436	249
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	15	15
為替差益	97	58
補助金収入	13	0
その他	49	35
営業外収益合計	178	111
営業外費用		
支払利息	15	25
その他	9	6
営業外費用合計	24	31
経常利益	590	329
特別利益		
保険解約返戻金	71	—
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	13
特別利益合計	71	15
特別損失		
減損損失	※1 25	※1 1
固定資産除却損	—	18
特別損失合計	25	20
税金等調整前四半期純利益	635	324
法人税、住民税及び事業税	185	177
法人税等調整額	26	△38
法人税等合計	211	138
四半期純利益	424	186
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	423	183

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	424	186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	143
為替換算調整勘定	178	△16
その他の包括利益合計	177	127
四半期包括利益	601	313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	597	309
非支配株主に係る四半期包括利益	4	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	635	324
減価償却費	90	96
減損損失	25	1
のれん償却額	33	36
受取利息及び受取配当金	△17	△17
支払利息	15	25
保険解約返戻金	△80	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31	10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	△18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24	9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	49	29
売上債権の増減額 (△は増加)	△131	330
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△344	109
仕入債務の増減額 (△は減少)	120	△176
その他	2	△274
小計	333	477
利息及び配当金の受取額	17	17
利息の支払額	△13	△37
法人税等の支払額	△421	△34
営業活動によるキャッシュ・フロー	△84	422
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△37	△142
無形固定資産の取得による支出	△23	△43
投資有価証券の取得による支出	△17	△16
投資有価証券の売却による収入	—	70
定期預金の預入による支出	△6	△4
定期預金の払戻による収入	—	62
敷金及び保証金の差入による支出	△30	△60
保険積立金の積立による支出	△30	△26
保険積立金の解約による収入	173	21
その他	9	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	37	△85
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	283	284
長期借入れによる収入	500	340
長期借入金の返済による支出	△499	△573
社債の償還による支出	△50	△50
配当金の支払額	△143	△137
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△10	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	78	△147
現金及び現金同等物に係る換算差額	181	△24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	213	165
現金及び現金同等物の期首残高	2,677	2,491
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,891	2,657

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(百万円)
大阪府中央区	事業用資産	ソフトウェア	25
大阪府中央区	事業用資産	工具、器具及び備品	0
—	—	—	25

当社グループは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

当社の連結子会社であるさくさく株式会社において、当初予定していた収益を見込めなくなったため、上記の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(百万円)
大阪府中央区	事業用資産	ソフトウェア	1

当社グループは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

当社の連結子会社であるさくさく株式会社において、投資額の将来の回収が見込めないため、上記の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	8,214	1,296	3,432	868	7	13,818	355	14,173	—	14,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	8	14	0	2	38	32	71	△71	—
計	8,226	1,304	3,447	869	9	13,856	388	14,245	△71	14,173
セグメント利益 又は損失(△)	124	56	207	84	△46	426	△18	407	29	436

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額29百万円は、セグメント間取引消去△0百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額29百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「eコマース事業」において、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。詳細は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	8,148	1,350	3,318	733	20	13,570	373	13,943	—	13,943
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	8	7	—	5	38	59	97	△97	—
計	8,164	1,359	3,325	733	26	13,609	432	14,041	△97	13,943
セグメント利益 又は損失(△)	59	104	61	33	△35	224	1	226	23	249

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額23百万円は、セグメント間取引消去△11百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額34百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「eコマース事業」において、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。詳細は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。